

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026年03月06日

事業所名：放課後等デイサービス 放課後等デイサービス けいきJunior

対象人数（保護者）22人 回答者数 17人 回収 77.3%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1			利用人数により、学習スペースがもう少しあれば、と感じる日もあるかもしれません。	人数が多い日には、複数人で座って遊べる遊びをする事や、学習に取り組む時間を分ける等して対応していきます。	
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1					
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16				1	階段が、雨の日等心配でしたが今は、運動にもなるし必要かと感じます。	雨の日の事を考慮し、滑り止めを各階段に設置しました。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17						
適切な 支援の 提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1					
	⑥ 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1					
	⑦ こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	17						
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				3	移行支援とは？本人と家族への支援はして頂いています。	
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑩	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1		1		
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3		10		
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	4		4	ペアトレや保護者会は、働く保護者の方が多いので、難しいのかもかもしれません。	令和8年度からは、保護者さんだけの集まりを実施しく予定です
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17					
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17					
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1				
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	4		5	BBQ大会	令和8年度も交流プログラムなどの実施など、交流の機会を設けていきます。
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2		2		
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	1		保護者から先生に子供に対する相談をした際に子供本人に話してることがあったので配慮してもらいたいと思った。	今後、保護者様の相談内容をご本人に伝えないように配慮していきます。
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に	14			3		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	対して発信されていますか。						
	⑳ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	17					
非常時等の対応	㉑ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	1	3	定期的に、再確認として保護者宛にマニュアル等示して頂けると 安心に繋がります。	室内に掲示しているマニュアル等定期的に、SNSに掲示する、もしくは、HUGシステムでお知らせしていければと考えています。
	㉒ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14			3	避難訓練、して頂いていると思うのですが子供は【分からない】と。あやふやな記憶です。	避難訓練を実施した際には写真など、土曜日のお出かけ写真と一緒に配布するなどしていき、実施している事をお伝えしていければと思います。
	㉓ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	16	1				
	㉔ 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	16	1				
満足度	㉕ こどもは安心感をもって通所していますか。	17					
	㉖ こどもは通所を楽しみにしていますか。	17					
	㉗ 事業所の支援に満足していますか。	17				先生方が、家族のように 厳しさも踏まえ接してくださいるので、 本人の成長に繋がっています。 家庭だけでは、成し得ません。	今後も、保護者様としっかりと話し合いながら、お子様の成長に繋がるように、日々支援していきたいと思えます。

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社 KEIKI 放課後等デイサービス けいき Junior		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 30日		～ 令和8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の状況に合わせて、適切な支援を行えるように、日々職員間で話し合いを行っている。	伝達ノートを使用し、その日の注意点や留意点などを周知するようにしている。	送迎前に申し送りを行うようにしている。
2	重度のお子様に対しても、写真カードを使い、過ごしの見通しが持てる様に進めている。	土曜日などの買い物学習の際に、必要なお子様には買う内容の物の写真を印刷し、同じ物を選べるように進めている。	物を選ぶ、レジに行く、お金を払う等の手順書を作成していき、買い物スムーズ出来る様に進めていきたいと思っている。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	軽度のお子さんとのやり取りをするにあたっての、普段の関係構築の難しさを感じている。	主となる職員とは関係構築は出来ているが、お子さん自身の関係構築が出来ている職員とばかり関わろうとする姿が多く見られるため、その他の職員との関係構築が難しいと感じている。	関係が構築できている職員と一緒にそのお子さんに関わるようにしていき、ご本人の状態が良い際に、さらに関わる様に進めていく。
2			
3			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	けいきJunior				公表日	令和8年3月6日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		アイロンビーズ等座ってやる遊びの際は、複数人誘って、少ないスペースで出来る様に工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2		日々、話し合いの場を設けていき、誰もが立案できるように改善していきます。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	お子さんの特性を考え、固定化しない曜日、固定化をした方が良い曜日を分けていきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		伝達ノートを用いて報告や1日の注意点など伝えている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		新年度、児童発達支援からの情報をしっかり共有する事に努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			写真カードやタイマー等使用している
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026年03月06日

事業所名：放課後等デイサービス 放課後等デイサービス けいきplus

対象人数（保護者）31人 回答者数 21人 回収 67.7%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2				
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	18		1	2		
	③ 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19				2	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21					
適切な 支援の 提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20		1			
	⑥ 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20			1	公表されてないのでわかりません。	支援プログラムはホームページ上で公開しておりますが、「分からない」とのご意見をいただき、周知が十分でなかったと受け止めております。 今後は、掲載方法の見直しやご説明の機会を増やすなど、より分かりやすい情報提供に努めてまいります。
	⑦ こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	20	1			理解してるとは思いません。	お子さまの状況や保護者様のニーズをより丁寧に把握し、客観的なアセスメントに基づいた個別支援計画の作成に努めてまいります。 今後は、面談や日々の振り返りの機会を充実させ、ご家庭との共有・確認をより丁寧にしながら、共通理解を深めてまいります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			1		
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1				
	⑩ 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1				
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	1	12		
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	1	6		
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1				
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1				
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20		1		言われた事だけやっている感がある。指示された事をやってあげばいいみたいに見える。	お子さまの成長や目標を見据え、主体的かつ根拠のある支援を行うことが本来の姿であると考えております。 今後は、支援の意図やねらいを丁寧に伝えするとともに、職員間での共有・振り返りを強化し、より質の高い支援につなげてまいります。
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等によ	15	2	1	3	親子バーベキューのイベントは、企画準備など大変だと思いますが、こういう機会を作ってください、とても感謝しています。	親子バーベキューにつきまして、そのように感じていただけただことを大変うれしく思います。準備は大変な面もありますが、皆さまの笑顔や交流の様子が私たちの励みになってお

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	り、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						ります。 今後も親子で楽しんでいただける機会を大切にしていきたいと思います。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19			2		
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1				
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	1				
	㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20		1		よく他人の内容も聞く事があります。特に1人の職員の方がよく他の人の情報も言われています。 どうかと思って聞いてます。	個人情報の取り扱いについてご不安を抱かせてしまい、大変申し訳ございません。ご指摘の内容を重く受け止めております。 改めて職員全体で個人情報保護の重要性を周知徹底し、守秘義務に関する研修や確認を行い、再発防止に努めてまいります。
非常時等の対応	㉓ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19			2		
	㉔ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			4		
	㉕ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21					
	㉖ 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20				1	
満足度	㉗ こどもは安心感をもって通所していますか。	20			1		
	㉘ こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	1				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
29	事業所の支援に満足していますか。	20		1		<p>平日も土曜イベントも色々工夫をしてくださって、ありがとうございます。</p> <p>いつも楽しみに通所しています。</p> <p>子どもの様子も、事業所からも子どもからもお話を聞いており、支援に大変満足しています。</p> <p>いろいろ聞いてもわかってない事が多い上に、返事の連絡も遅い。または、こちらからどうなったか聞かないと連絡ありません。それに1人の職員に送迎で何度も嫌味を言われた事もあり、顔すら見たくありません。訴えたい気分です。</p> <p>土曜デイや日常の動画をみたいのです。配布が難しい場合は面談時に見せていただけたらありがたいです。</p> <p>大変通所を楽しみにしております。なかでも土曜日デイの通所は、とても楽しみにしております。毎月、工夫が凝らされた行事やお出かけは、支援員さんたちの温かさに満ちていてとても嬉しく思います。今後も変わらず子どもたちに社会性を学ばせながら楽しませてくれるイベントを期待しております。今後ともよろしくお願い致します。</p>	<p>このたびはアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。</p> <p>日々の支援や行事に対する温かいお言葉を頂戴し、職員一同大変励みになっております。一方で、説明不足や連絡の遅れ、職員の言動、個人情報の取り扱いなどにつきまして、厳しいご意見もいただきましたことを真摯に受け止めております。</p> <p>今後は、個別支援計画の作成にあたりお子さまや保護者様の思いをより丁寧に把握し、支援の意図や内容を分かりやすくお伝えしてまいります。また、連絡体制の見直しや職員研修の徹底を図り、安心してご利用いただける環境づくりに努めてまいります。</p> <p>さらに、普段の過ごし様子について動画で見たいのご意見も踏まえ、個人情報や安全面に十分配慮しながら、より具体的に様子をお伝えできる方法を検討してまいります。</p> <p>いただいたご意見を今後の改善につなげ、より信頼していただける事業所を目指してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をやるかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	けいきplus		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		～ 令和 8年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		～ 令和 8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安全で安心できる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の清掃や整理整頓を心がけています 事故等があった際は速やかに情報共有しています お子さまの特性に合わせた環境設定を行っています 	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な防災訓練を取り入れていきます 安全について話し合う機会を定期的に設けます 取り組み内容をSNSや連絡帳等で、分かりやすくお伝えしていきます
2	一人ひとりに寄り添った支援	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に振り返りや話し合いを行っています 職員同士で連携しながら支援を考えています アセスメントを丁寧に行い、保護者の皆さまの思いを大切に計画を作成しています 	<ul style="list-style-type: none"> 研修を通して学びを積み重ねます 記録を共有するための工夫をしています 支援の成果を分かりやすくお伝えします
3	保護者の皆さまとの連携	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳で日々の様子を丁寧にお伝えしています 気軽に相談していただける雰囲気づくりを心がけています ご意見には真摯に対応しています 	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有の方法を工夫していきます 参加しやすい行事づくりを進めます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> 安全面への配慮から、交流機会を慎重に検討する必要があり、実施機会が限られていました 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣施設や関係機関との情報交換を進めます 無理のない範囲で交流の機会を広げていきます
2	保護者同士の交流機会	<ul style="list-style-type: none"> 年に一度保護者合流BBQを行っていましたが、日々のなかでは送迎時の短時間のやりとりが中心となり、ゆっくり交流できる時間が確保できていませんでした 	<ul style="list-style-type: none"> 短時間・少人数で参加しやすい交流の場を検討します 行事とあわせた交流機会を工夫します
3	研修・自己評価の周知	<ul style="list-style-type: none"> 研修や自己評価は実施しているものの、その内容や目的を十分にお伝えできていませんでした 発信方法が限られており、情報共有の仕組みが十分ではありませんでした 	<ul style="list-style-type: none"> HUGやお便りを活用してお知らせします 取り組みを分かりやすく整理してお伝えします 定期的な情報発信を心がけます

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	けいきplus		公表日		令和8年 3月6日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		フリースペース、勉強スペース、食事スペースを分けることで、活動に合わせて気持ちを切り替えやすい環境づくりをしています。	時間帯や利用状況によっては、スペースが手狭に感じられることもあるため、今後も配置や使い方を工夫しながら、より快適に過ごせる環境づくりを検討していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	活動スペースを分かりやすく分け、視覚的な表示などを用いながら、こどもが安心して過ごせる環境づくりをしています。	一部に段差があるため、安全面への配慮が必要と感じています。今後は段差の解消や注意喚起を検討し、より安心できる環境づくりに努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	いただいたご意見も大切にしながら、より良い運営を心がけています。	外部評価の実施状況について、十分に周知できていませんでした。今後は実施の有無や内容について分かりやすくお伝えしていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	日々の支援では、まず事業所内でのチーム連携を大切に、こども一人ひとりに合った支援を行うよう努めています。	関係機関との連携が十分でないため、今後は保健・医療・教育・福祉との連携を深め、安心して支援を受けられる体制づくりを進めていきたいと考えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	中高生を対象としているため、就学前施設との直接的な連携の機会はありませんが、必要に応じてこれまでの支援歴や関係機関からの情報を共有いただき、支援に活かすよう努めています。	対象年齢の特性上、就学前施設との連携機会に限られていますが、今後も関係機関との情報共有を大切に、切れ目のない支援につなげていきたいと考えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	保護者のご要望に応じて、これまでの支援内容や様子をまとめてお伝えするようになっています。	現在はご要望があった場合に対応していますが、今後は事前のご案内や情報提供の方法についても検討していきたいと考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		児童部会の立ち上げに関わるなど、地域の支援体制づくりに貢献しています。	今後は参加にとどまらず、より具体的な取り組みや成果を事業所内にも還元できるよう工夫し、日々の支援の充実につなげていきたいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		年に一度、保護者も参加できるイベントを開催し、保護者同士が交流できる機会を設けています。	現在は年1回の開催にとどまっているため、今後はより交流の機会を増やしたり、日常的に情報交換できる場づくりも検討していきたいと考えています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	現時点では大きな行事へのご招待は行っておりませんが、日頃からあいさつや情報共有を大切に、地域とのつながりを意識しています。	地域の方が参加しやすい機会づくりや情報発信が十分ではありません。今後は小さな交流から取り組んでいきたいと考えています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7					